

施設運営情報データの御提供

～ 新たな自治体経営を目指して～

あなたの町・市・区等の資産白書(アニュアルレポート)を毎年作成し、
実態の開示・課題解決を図ることが出来ます

NPM(ニュー・パブリック・マネージメント)概念の導入

NPM(New Public Management ; NPM)とは、1980年代半ば以降、イギリス、ニュージーランド等を中心に行政実務の現場を通して形成された行政運営理論です。

当時、ヨーロッパ諸国では高齢社会の到来を伴った成熟社会を迎えていました。これにより、公共サービスに対するニーズの変化と増大をもたらし、限られた財政の中でサービスの消費者である市民の満足度がより高くなるような公共サービスを提供する必要性が認識されるようになりました。

NPMの理論の核となるのは、民間企業における経営理念や手法を行政の現場に適用することによって、行政部門の効率化や活性化を図ることにあります。

《 基本的な考え方 》

- (1) 経営資源の使用に際して業績や成果による客観的な評価を行うことで、公共経営を実現します。
- (2) 公的企業の民営化・民間委託・アウトソーシング等、市場メカニズムを可能な限り活用します。
- (3) 政策及び事業の統制の基準をサービスの顧客である市民とします。(顧客志向への転換)
- (4) 組織の簡素化・機能の単純化等、統制しやすい組織に変革していきます。

この考えを具体的に各自治体の保有する公共施設の運営及び行政サービスの中に取り入れていきます

《 効果 》

- 保有する施設の有効活用の実現
- 施設の効率的運営管理の実現
- 予算の有効活用の実現が図れます

地方自治体における5つの課題

1 増加する建物修繕費

築20年を越える施設が全体の50%を越える現在の状況で修繕費の増加が予想されます。建物のライフサイクルを通じてマネージメントして修繕費の削減・平準化を図ることが重要となっています。

2 施設運営管理費の削減

厳しい財政状況の中で、公共施設の運営管理費の占める割合は少なくありません。保有する資産の有効活用を行いながら、満足度の高い住民サービスを実現する必要があります。

3 社会的変化と新たなニーズ

企業の撤退等による空地化・空洞化等の様々な社会的変化、ライフスタイルの変化に対してスピーディーに、且つ柔軟な行政サービス対応する手法の一つに自治体の保有する資産を戦略的・計画的に運用していくことが求められます。

4 アカウンタビリティの重要性

限られた財源の中で、効率的な行政を遂行するために、住民からの理解が不可欠です。その理解を得るためには情報開示と説明責任を果たす事が必要です。

5 多様なニーズへの対応と適確なデータ管理

ライフスタイルの変化、情報開示等、施設管理にもニーズ変化が起きています。施設の戦略的運用に際し、適確なデータ管理が求められます。施設データの一元化管理に際し、管理システムの独自開発、運営維持の困難さを排除し、且つデータ管理・更新の適確さが求められています。

解決するためには

施設運営情報システムの活用により、必要最小限の情報から、いろいろな場面で求められている必要データをご提供します

1 各施設ごとに必要最小限の情報を提供して載せます

建物情報とコストは、それぞれ別個に管理されていることがあります。又、「初期コスト」「保全コスト」等も施設毎に管理されている状況が見受けられます。

行政施設	教育施設	文化施設	コミュニティ施設	医療・福祉施設	産業施設	保安施設	環境保全施設
・庁舎 ・出張所 ・窓口業務施設	・保育園 ・小学校 ・中学校 ・高校 …等	・ホール ・図書館 ・生涯学習センター ・美術館 …等	・公民館 ・コミュニティセンター …等	・高齢者福祉 ・医療施設 …等	・商業施設 ・流通施設 ・生産施設 …等	・警察署・派出所 ・消防署 ・自衛隊施設 …等	・浄水場 ・下水処理場 ・清掃工場 ・ゴミ焼却場 …等

記入シート

2 データの一元化が図れます (建物に関しての建設時からライフサイクルに至る経年情報)

最低限のデータで最大の効果 データの一元化

建物性能状況記入シート

- 建物概要
- 初期コスト
- 維持管理の状況
- 維持管理コスト
- 保全の状況
- 保全(修繕等)のコスト

データシート・判断シート

3 個々の施設の状況が把握できます 施設群(用途別)としての状況が把握できます

個別施設データシート

群データシート (用途別・目的別)

評価

4 施設の状況を評価し、今後必要なコストを予測します

- 構造安全性：耐震…等
- 大規模修繕：修繕・改修・更新状況…等
- 機能改善(機能面)：バリアフリー・IT化…等
- 機能改善(環境面)：アスベスト・シックハウス…等
- 経済性(維持管理)：維持管理等の状況・指定管理者制度…等
- それぞれの評価軸での改善方針
- 優先度の判断
- 今後のライフサイクルコスト予測

資産白書(アニュアルレポート)

5 保有する施設全体の状況や財政状況を分かりやすく開示します

資産白書 (アニュアルレポート)

- 保有する施設の状況
- 施設の目的別使用状況
- 施設関係経費の状況
- 今後の経費予測
- 財政状況…等

効果

- 各自治体の施設の状況(問題点・課題)を定量的・定性的に把握し、改善の方向性を導き出します。
- システムの共用、簡便な記入シートにより、毎年のデータ管理・更新が安価にでき、また、全国標準データも入手できます。
- 毎年の施設状況が解り易く開示できるとともに、施設の戦略的活用の必要性に理解が得られやすくなります。

将来的に下記データを加算することにより、資産活用戦略の立案が可能です

資産状況・利用状況

運営状況・運営コスト

資産活用戦略提案の視点 (総合的・横断的な計画・立案)

施設再編	他用途への転用、統廃合、対象エリアの変更等
オペレーション変更	アウトソーシング化、時間外運営等
建物等の効率的活用	・ライフサイクルコストの削減 ・大規模修繕・機能改善等の優先度の判断
予算戦略	重点投入すべき分野の明確化
売却・処分	遊休施設の売却による財務体質改善

- ①行政サービスへの住民満足度向上
- ②財務体質改善

結果的に大きな効果が得られます。

施設運営情報データ提供一覧

●全体の流れ

施設に対しての必要最小限の情報を記入することで、様々な必要データが入手できます

各施設におけるデータの一元化と各種評価軸より、方針の確立と各種判断が出来ます

それぞれに必要な情報を確実に提供でき、保有する資産の有効活用とアカウントビリティの実施が図れます

●データ概要一覧

提供データ3

資産白書(アニュアルレポート)

		第1章 保有資産状況 1 資産動向 1-1) 主な保有資産状況 1-2) 保有資産の推移	1-3) 施設設備の状況と推移 2 投資的経費の状況
3 資産の目的別使用状況 3-1) 建物の目的別使用状況 3-2) 土地の目的別使用状況	4 施設関連経費の状況 4-1) 施設維持費の推移と内訳 4-2) 主な施設の施設管理経費	5 今後の施設関連経費の推移	第2章 財務状況 参考 バランスシート

住んでいる自治体の施設に関する確かな情報が得られ、施策への理解が深まる

住民

提供データ2

群データシート

1 管理状況	2 施設状況 2-1 構造安全性の状況
2-2 大規模修繕の状況	2-3 機能改善(環境面)の状況
2-4 機能改善(機能面)の状況	

群判断シート

0 施設群概要	1 施設評価結果
2 管理状況	3 施設の改修費・改築費の予測

保有する資産に関する資産活用戦略を立案(将来ビジョンの確立)

市長

提供データ1

個別施設データシート

0-1 施設概要シート	0-2 個別データ一覧表	1 管理状況
2 施設状況 2-1 構造安全性の状況	2-2 大規模修繕の状況	2-3 機能改善(環境面)の状況
2-4 機能改善(機能面)の状況		

個別施設判断シート

1 概要及び施設評価結果
2 施設の改修費の予測

部局をこえた横断的計画の立案(効果的な予算計画・運営計画・長期計画)

企画部局
財政部局
営繕部局

施設全体・用途別・目的別の効果的活用・計画案の立案及び予算措置、長期計画の策定

施設保全責任者

記入シート(建物性能状況)

建物概要 維持管理の状況 保全の状況 (毎年記入事項)	初期コスト 維持管理コスト 保全(修繕等)のコスト (毎年記入事項)	○電子媒体(MO、CD-R等)による記入シートの配布
--------------------------------------	---	--------------------------------

個々の施設における効果的活用判断ができる(用途別・目的別)(改善目標の設定)

施設管理者

費用の算出例

自治体が保有する施設量を以下の如く仮定した場合の費用は、概ね以下の如くなります。

	200施設		120施設	
	施設数	1施設当り平均建物数	施設数	1施設当り平均建物数
行政施設	15	1	10	1
教育施設	60	3	55	3
文化施設	10	1	5	1
コミュニティ施設	15	1	10	1
医療・福祉施設	40	1	20	1
産業施設	25	1	8	1
保安施設	15	1	6	1
環境保全施設	5	1	2	1
その他	15	1	4	1
計	200	320棟	120	230棟

必要データは無償にてご提供戴きます。

	項目	200施設		120施設	
		初回	2回目以降	初回	2回目以降
データ提供	2-1.提供データ 1				
	(1) 個別データシート @1,575×4(円/棟) × 320棟 = @ 945×4(円/棟) (230棟)	2,016,000円	1,209,600円	1,449,000円	869,400円
	(2) 個別施設判断シート @2,100×2(円/施設) × 200施設 = @1,575×2(円/施設) (120施設)	840,000円	630,000円	504,000円	378,000円
	2-2.提供データ 2				
	(1) 群データシート @1,575×5(円/群) × 45群 = @ 945×5(円/群) (30群)	354,375円	212,625円	236,250円	141,750円
	(2) 群判断シート @2,100×4(円/群) × 45群 = @1,575×4(円/群) (30群)	378,000円	283,500円	252,000円	189,000円
	2-3.提供データ 3				
(1) 資産白書	525,000円	420,000円	525,000円	420,000円	
	合計	4,113,375円	2,755,725円	2,966,250円	1,998,150円

参考: 記入シート入力作業 (基本的にはお客様で入力して戴きます。)

- (1) 基本情報入力 : データ入力の委託を希望される場合、別途費用にてお手伝い致します。
1建物当り 1,575円/棟(税込み)にて実施致します。
- (2) 管理情報入力 : データ入力の委託を希望される場合、別途費用にてお手伝い致します。
1建物当り 初回 5,880円/棟(税込み)、
2回目 3,675円/棟(税込み)にて実施致します。